

第2章

八丈分教室モデル事業の取組



1 学校概要

(1) 東京都立青鳥特別支援学校八丈分教室

八丈分教室は、青鳥特別支援学校の分教室として、八丈高等学校内に令和3年4月に開設した、東京都では初めてとなる島しょ地域の特別支援学校である。生徒が希望する進路実現を目指し、八丈島の豊かな自然、歴史、産業等を生かした様々な教育活動を展開している。

(生徒数・教職員数は令和5年5月1日時点)

名称	東京都立青鳥特別支援学校八丈分教室
設置場所	東京都八丈島八丈町大賀郷 3020 番地 八丈高等学校内
本校	東京都世田谷区下馬二丁目 38 番 23 号 青鳥特別支援学校
障害種別	知的障害教育部門
課程・学科	高等部普通科
教育課程	本校に準じて八丈分教室の教育課程を編成
学級・生徒数	3学級7名 (第1学年2名、第2学年2名、第3学年3名)
教職員	副校長1名、教諭6名 都立学校経営企画室支援員(会計年度任用職員)1名 八丈高等学校の養護教諭、経営企画室職員(事務・技能・栄養士)が八丈分教室を兼務



(2) 東京都立青鳥特別支援学校

青鳥特別支援学校は、昭和22年に設置した日本で最初の公立の知的障害特別支援学校である。生徒の適性に応じて、自立と社会参加を目指した教育の推進に向けた指導を実施している。令和3年度に八丈分教室を開設、令和5年度に職業教育を主とする専門学科である職能開発科^{※1}を設置し、普通科と合わせ2科1分教室という新たな体制となっている。

(生徒数・教職員数は令和5年5月1日時点。八丈分教室は含まず。)

名称	東京都立青鳥特別支援学校
設置場所	東京都世田谷区下馬二丁目38番23号 (仮設校舎。現在本校舎改築中)
障害種別	知的障害教育部門
課程・学科	高等部普通科、職能開発科
学級・生徒数	普通科 21学級131名 (第1学年38名、第2学年49名、第3学年44名) 職能開発科 2学級20名 (第1学年20名)
教職員	統括校長1名、副校長1名 教職員(教諭・養護教諭・実習助手)57名 経営企画室職員(事務・技能・栄養士)8名



※1 生徒全員の企業就労を目指す職業教育を主とする専門学科として、知的障害が軽度から中度の生徒を対象とした学科

(3) 東京都立八丈高等学校

八丈高等学校は、昭和23年に設置した東京都立園芸新制高等学校八丈分校を前身として、昭和25年9月に開設した。八丈町で唯一の高等学校として、進学から就職まで、島内生徒の多様な進路先に対応した教育課程^{※2}を編成している。また、探究学習「八丈学」での地域協働やハワイ研修^{※3}による国際交流等、魅力ある教育活動を展開するとともに、企業連携や高大連携を推進し、進路希望をより高いレベルで実現することを目指している。

(生徒数・教職員数は令和5年5月1日時点)

名称	東京都立八丈高等学校
設置場所	東京都八丈島八丈町大賀郷 3020 番地
課程・学科	全日制（普通科、併合科〈園芸科、家政科〉） 定時制（普通科）
学級・生徒数	全日制 普通科 6 学級 117 名 （第1学年 41 名、第2学年 38 名、第3学年 38 名） 併合科〈園芸科、家政科〉 3 学級 15 名 （第1学年 5 名、第2学年 6 名、第3学年 4 名） 定時制 普通科 4 学級 16 名
教職員	校長 1 名、副校長 2 名（全日制、定時制） 教職員（教諭・養護教諭・実習助手） 38 名 経営企画室職員（事務・技能・栄養士） 10 名



※2 八丈高等学校では、多様な選択科目の設置、習熟度別授業や少人数制授業の実施、地域と協働した学習を推進している。

※3 八丈高等学校はハワイ州のハワイ大学ヒロ校やワイアケア高校と令和元年8月に姉妹校提携を結び、それ以降相互に訪問を実施して、国際交流・語学研修を行っている。

2 八丈分教室における教育活動

(1) これまでの取組や行事等

八丈分教室モデル事業を推進するに当たり、青鳥特別支援学校内において令和2年10月から八丈分教室の開設準備を開始した。八丈分教室の教育課程は、本校である青鳥特別支援学校の教育課程を参考にして検討した。また、八丈高等学校との交流及び共同学習、地域・地元企業等と連携した進路指導、八丈島の自然や文化等の特色を生かした教育活動を通して、卒業後、生徒が島内において自立と社会参加を実現できるよう教育内容を検討した。

交流及び共同学習については、八丈分教室と八丈高等学校の教職員が共通理解や情報共有を図りながら、体育祭や文化祭（八高祭）等の行事を合同で行っている。進路指導では、地元企業等と事前の打合せと調整を行い、生徒の就業体験や産業現場等における実習を実施している。

これまでの取組や八丈高等学校と共同実施した行事等は次のとおりである。

年度	月	主な取組や行事等（令和5年9月時点）
2020 (令和2)	9	八丈分教室モデル事業公表
	11	島内向け学校説明会（八丈高等学校会場）
	1	令和3年度入学生出願（八丈高等学校会場）
	2	令和3年度入学生入学相談（八丈高等学校会場）
	3	入学説明会（オンライン実施）
2021 (令和3)	4	第1回入学式挙行（八丈高等学校全日制・定時制と合同実施）
	6	体育祭（八丈高等学校全日制と合同実施）
	9	文化祭（八高祭）（八丈高等学校全日制・定時制と合同実施）
	10	第1学年移動教室（日程、交通手段及び宿泊先は八丈高等学校と同一）
2022 (令和4)	4	第2回入学式挙行（八丈高等学校全日制・定時制と合同実施）
	6	体育祭（八丈高等学校全日制と合同実施） 第2学年就業体験
	9	文化祭（八高祭）（八丈高等学校全日制・定時制と合同実施）
	10	第1学年移動教室（日程、交通手段及び宿泊先は八丈高等学校と同一）
	11	第2学年産業現場等における実習
	2	第2学年修学旅行（八丈高等学校と一部で同一行程）
	2023 (令和5)	4
5	第3学年産業現場等における実習	
6	体育祭（八丈高等学校全日制と合同実施）	
9	文化祭（八高祭）（八丈高等学校全日制・定時制と合同実施）	

(2) 教育活動

〈八丈分教室のカリキュラム〉

	1年	2年	3年	卒業
ア 教科学習	通年（特別活動を含む）			島内での自立と社会参加 （企業や事業所等への就労）
イ 作業学習	通年（週9コマ）			
ウ 就業体験・ 産業現場等 における実習	職場見学	就業体験、 産業現場等 における実習	産業現場等 における実習	

〈週時程（3学年共通）〉

	月	火	水	木	金
1	国語	数学	作業学習	数学	国語
2	作業学習	音楽	作業学習	国語	理科
3	作業学習	美術	作業学習	保健体育	社会
4	作業学習	美術	作業学習	保健体育	情報
	給食・休憩				
5	音楽	家庭	作業学習	職業	総合的な探究 の時間
6	道徳科	家庭	作業学習	外国語	ホームルーム 活動

ア 教科学習

八丈分教室では、本校である青鳥特別支援学校の令和2年度教育課程の中で設定していた「職業自立類型※4」を参考に教育課程を編成し、一人一人の障害の状態等に応じた個別の目標を設定することで、課題に合わせた指導を実施している。

【国語】



生徒の実態に応じた教材の工夫

【数学】



個別指導

【家庭】



八丈高等学校の特別教室を使用した授業

【職業】



進路に向けた学習

※4 青鳥特別支援学校では、令和2年度当時、「生活自立」、「職業基礎」、「職業技術」及び「職業自立」の四つの類型による教育課程を編成しており、「職業自立」は、職業生活に必要な能力を高め、自立した社会人としての働く態度や意欲を育成する類型である。

イ 作業学習

作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。八丈分教室では作業学習の授業形態をより実践的にして指導を行っており、作業学習を通して、働く意欲や態度、職業生活に必要な知識・技能の習得を図っている。

開設初年度は、本校も含め多くの都立特別支援学校で設定している、「事務」と「清掃」の2作業種を選定し、全ての生徒が学習する形式で実施してきた。

「事務」では、オフィス作業の基礎となる印刷や資料丁合、事務用品の取扱い等を学習した。「清掃」では、自在ほうきやダスタークロス、スクイージー（窓ガラス等の水切りに使われる掃除用具）等の用具を使った床・窓清掃を学習した。

開設2年目からは、上記2作業種に加え「食品加工」を設定し、島の特産物である「島唐辛子」を使った七味唐辛子製造として、食材の計量、粉碎、調合、封入等に取り組んできた。

3年目である本年度は、これまで学習してきた「事務」や「清掃」の技術を活用し、八丈高等学校内の陶芸室を刷新してカフェ（店名「チルチルミチル」）を開店した。カフェでは、学習の一環として、生徒による飲料の提供や七味唐辛子（商品名「シマカラ」）の販売等を定期的に行っている。

【事務】



丁合・製本



八丈高等学校全日制の卒業文集を製本
（贈呈の場面）

【清掃】



スクイージーを使った窓掃除



集中作業学習（八丈高等学校入学者選抜の期間に、八丈支庁に協力を得て行っている授業）として公用車洗浄作業を実施

【食品加工】



島唐辛子栽培



七味唐辛子「シマカラ」の製造

【八丈分教室カフェ】



陶芸室をカフェとして改装



令和5年度の文化祭（八高祭）でカフェ「チルチルミチル」をオープン

ウ 就業体験・産業現場等における実習

都立特別支援学校では、将来の自立と社会参加を見据え、授業の一環として就業体験・産業現場等における実習（インターンシップ）を企業や事業所等の協力を得て実施している。

八丈分教室においては、島内の事情に合わせた就労先の開拓と同時に、障害者雇用についての理解啓発を行っている。また、島内の企業・店舗や官公庁、福祉施設等の理解と協力を得て、就業体験や産業現場等における実習を実施している。

【職場見学（主に1年生）】

職場見学は、卒業後の進路への関心を高め、社会人としての心構えを養うことを目的に実施する。島内の仕事を知り、働く人の様子を見学する。



製菓店（パン等製造）



フェニックス・ロベレニー農家

【就業体験（2年生）】

就業体験は、実際に企業や施設で働くことの「体験」に主眼を置き、教員付添いにより実施する。



回転焼製造・販売（神湊漁港）



島しょ農林水産総合センター八丈事業所

【産業現場等における実習（2・3年生）】

就業体験を踏まえ、3日から1週間程度、島内の企業や施設等で働くことを2年生で1回、3年生で2回程度、産業現場等における実習として体験する。教員は定期的に巡回するが実際の指導は実習先の担当者が実施する。



スーパーマーケット



商店でのくさや製造



八丈町役場



オンライン実習

〈就業体験・産業現場等における実習先一覧〉

（令和5年9月時点）

就業体験	久福茶屋（合同会社ライフベースが運営する店舗での回転焼製造・販売業務）
	島しょ農林水産総合センター八丈事業所（主に見学）
	長田商店（くさや製造・販売店舗での体験）
	八丈書房（書店での事務・軽作業）
	みはらしの湯（町運営の温泉施設での作業）
産業現場等 における実習	八丈ストア（バックヤード業務）
	沖ワークウェル（オンラインを活用したオフィス事務）
	八丈町役場（事務・軽作業）
	ちょんこめ作業所（就労継続支援B型事業所）

(3) 八丈高等学校との交流・連携

ア 交流及び共同学習

八丈分教室の特徴は、高等学校併設の立地条件を生かし、八丈高等学校との交流及び共同学習を取り入れながら教育活動を展開してきたことである。

〈交流及び共同学習の例〉

交流及び共同学習	特別活動	ホームルーム活動		一部のホームルーム活動：全日制各学年		
		学校行事	儀式的行事	入学式：全日制・定時制 始業式・終業式：全日制		
			文化的行事	文化祭（八高祭）：全日制・定時制		
			体育的行事	体育祭：全日制		
			旅行・ 集団宿泊的行事	移動教室（都内）：全日制第1学年 修学旅行（沖縄）：全日制第2学年 校外学習：全日制各学年		
	教科学習	国語	全日制（書道）	一部の授業で実施		
		音楽	全日制（音楽）			
		家庭	全日制（家政）			
		総合的な探究の時間	全日制（八文学）			

特別活動における交流及び共同学習は、開設当初から定期的に行うよう計画を立てて実施している。例えば、第1学年移動教室については、日程、交通手段及び宿泊先は全日制と同一であるが、行程は別とし、本校である青鳥特別支援学校との交流や都内散策、進路先見学等を設定している。また、第2学年修学旅行についても、日程、交通手段及び一部見学先は全日制と同一であるが、行程は別とし、生徒の実態に合わせた形にしている（令和4年度は入学相談の日程の都合上、同一日程での実施が困難だったため、旅行先での短時間交流のみとなった。）。

教科学習における交流及び共同学習は、国語、音楽や家庭等の実技を伴う教科を中心に実施している。

それぞれ実施前には八丈高等学校・八丈分教室両校の教員が打合せを行い、八丈分教室生徒への配慮事項や教材の工夫等を検討・確認して実施している。お互いの生徒の実態や教育活動について理解が深まることにより、様々な取組が両校の教員から提案されるようになってきている。

① 儀式的・文化的・体育的行事を八丈高等学校と合同で実施

【入学式】



八丈高等学校全日制、定時制及び八丈分教室の2校3課程が合同で実施

【体育祭】



八丈高等学校全日制と合同で実施

【文化祭（八高祭）】



八丈高等学校全日制、定時制及び八丈分教室の2校3課程が合同で実施



カフェ「チルチルミチル」で飲料の提供や七味唐辛子「シマカラ」を販売

② 旅行・集団宿泊的行事の一部を合同で実施

【移動教室】



日程、交通手段や宿泊先は八丈高等学校全日制と同一で実施。都内活動は別設定

【修学旅行】



令和4年度は日程が異なったため、那覇空港で八丈高等学校生徒と交流を設定

【宿泊防災訓練】



八丈高等学校の生徒と一緒に防災カードゲームをしながら防災について学ぶ様子

【校外学習】



大瀨浦園地にて、八丈高等学校生徒と防災食を調理し実食

③ 一部の教科学習の授業を合同で実施

【国語】



八丈高等学校の生徒と一緒に書き初めに取り組む様子

【音楽】



芸術発表会に向け合同歌唱練習

【家庭】



修学旅行の事前学習としての沖縄料理の調理活動

【総合的な探究の時間】



八丈植物公園でのフィールドワーク

イ 施設面・教職員の連携

八丈分教室は、八丈高等学校内の格技棟2階にある多目的用途教室（ミーティングルーム）を活用した三つの普通教室と、八丈高等学校教室棟にある一つの作業実習室を専用教室としている。生徒の昇降口も格技棟に設定している。

特別教室や体育施設等については、開設当初から八丈高等学校と共用しているが、さらに、令和5年度からは両校の週時程を調整し、週一回、八丈高等学校教室棟3階にある講義室も使用できるようにし、授業を行っている。

教職員の連携としては、八丈分教室設置に合わせ八丈高等学校の全日制職員室レイアウトを変更し、八丈分教室の教職員と八丈高等学校全日製の教職員が同じ職員室を利用している。



八丈高等学校正門入口



普通教室

(4) 青鳥特別支援学校（本校）との交流・連携

本校である青鳥特別支援学校とは、オンラインでの授業交流や、1年生の移動教室時に学校を訪問し、交流活動を行っている。

オンラインでの授業交流は、週時程が異なるため時間設定の工夫が必要である。今後、昼休みのオンライン交流等、お互いの教育課程に無理のない範囲で、定期的に交流活動を計画していく。

移動教室時の交流では、本校の1年生への八丈島プレゼンテーションや音楽交流、作業学習体験等を行っている。

令和4年度末には、本校で行われた壁画プロジェクト（解体予定の体育館に壁画を制作する活動）において、八丈分教室生徒が描いたデザインも用いて作品を制作した。

さらに、令和5年度は、作業学習での生産品を本校と八丈分教室が相互に発注し、それぞれのカフェ（本校は「ブルーバードカフェ」、八丈分教室は「チルチルミチル」）で販売する、新たな交流を実践した。



オンラインを活用した本校との交流



八丈分教室生徒が本校生徒に発表している様子



八丈分教室生徒が描いたデザインの作品



八丈分教室生徒がオンラインを使って、本校作業学習生産品を発注している様子